



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年1月31日

上場取引所 東大

上場会社名 フジ住宅株式会社

コード番号 8860 URL <http://www.fuji-iutaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮脇 宣綱

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR室長

(氏名) 石本 賢一

TEL 072-437-9010

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	47,651	△8.5	2,607	△30.0	2,576	△30.8	1,600	△24.7
24年3月期第3四半期	52,101	25.3	3,722	70.0	3,723	66.4	2,126	80.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,590百万円 (△26.4%) 24年3月期第3四半期 2,161百万円 (68.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	45.22	45.10
24年3月期第3四半期	60.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
25年3月期第3四半期	69,205		20,976		30.3	
24年3月期	65,209		20,123		30.8	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 20,935百万円 24年3月期 20,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,200	△7.5	3,800	△22.9	3,800	△22.5	2,320	△16.2	65.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	36,849,912 株	24年3月期	36,849,912 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,453,868 株	24年3月期	1,466,367 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	35,391,045 株	24年3月期3Q	35,351,626 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信【添付資料】「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたしております。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 経営管理上重要な指標	10
(2) 販売及び契約の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要が景気の下支えになったものの、従来からの欧州の金融危機及び円高の影響により輸出企業の収益が悪化しており、雇用・所得の不安感による個人消費の停滞感もあって、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

不動産業界におきましては、引き続き超低金利の住宅ローンの後押しもあって一次取得者層を中心とする住宅需要は根強く、低価格帯の物件を中心に堅調に推移しております。

当社グループ（当社及び連結子会社）におきましては、中古住宅の仕入における厳しい競合状況を反映して、売上高が期初予想を下回りました。また、リーマン・ショック直後に取得した利益率の高い分譲戸建の引渡しが一巡したことによる利益率の低下を反映し、利益面でも前年同期を下回る結果となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の実績は以下のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
販売契約高（百万円）	45,534	46,626	2.4%
売上高（百万円）	52,101	47,651	△8.5%
営業利益（百万円）	3,722	2,607	△30.0%
経常利益（百万円）	3,723	2,576	△30.8%
四半期純利益（百万円）	2,126	1,600	△24.7%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

分譲住宅セグメントにおいては、顧客の住宅間取りや設備仕様に対する様々なニーズに対応した自由設計住宅及び第1四半期連結会計期間より販売を本格化しました分譲マンションの受注契約高は26,249百万円（前年同期比45.9%増）となり好調に推移しました。一方、収益面においては、売上高は15,763百万円（前年同期比23.8%減）となり、セグメント利益は分譲マンション販売に係る広告宣伝費の増加やリーマン・ショックの直後に仕入れた利益率の高い物件の引渡しが一段落した影響により1,034百万円（前年同期比57.3%減）となりました。

住宅流通セグメントにおいては、新築建売住宅の仕入・販売は順調に推移しましたが、中古住宅については良質な中古物件の仕入が厳しい競合状況となりました。平成24年9月にはフジホームバンク堺店の新設・移転を行い、今後の仕入体制の一層の強化に取り組んで参りましたが、本格的な業績の回復は第4四半期連結会計期間以降になる見込みであります。当セグメントの受注契約高は15,475百万円（前年同期比22.5%減）となり、売上高は受注契約高の減少に伴い16,275百万円（前年同期比19.2%減）となり、セグメント利益は424百万円（前年同期比56.3%減）となりました。

土地有効活用セグメントにおいては、「フジパレスシニア」（低賃料タイプサービス付き高齢者向け住宅）やメゾネット型賃貸住宅の前連結会計年度末における高水準の受注残高と当第3四半期連結累計期間の順調な工事進捗を反映して、売上高は8,978百万円（前年同期比73.4%増）となりました。また、収益性の高い賃貸住宅等建築請負の売上構成比が高まったことから、セグメント利益は1,444百万円（前年同期比122.8%増）と大幅に増加しました。

賃貸及び管理セグメントにおいては、主として土地有効活用事業にリンクした賃貸物件及び管理物件の取扱い件数が増加したこと、稼働率が前年同期に比べ改善したことにより、当セグメントの売上高は6,316百万円（前年同期比8.7%増）となり、セグメント利益は362百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

注文住宅セグメントにおいては、売上高は317百万円（前年同期比9.3%増）を計上しましたが、今後の営業展開に向けた営業社員の採用などの先行投資費用の増加により、セグメント損失45百万円（前年同期はセグメント損失18百万円）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は47,651百万円（前年同期比8.5%減）となり、営業利益は2,607百万円（前年同期比30.0%減）、経常利益は2,576百万円（前年同期比30.8%減）、四半期純利益は1,600百万円（前年同期比24.7%減）となりました。

※第3四半期連結累計期間における損益の特徴

不動産業界におきましては、一般に、マンション・住宅等の引渡し(売上計上)時期は第4四半期連結会計期間、特に3月に集中する傾向があります。当社グループは、不動産販売事業における戸建住宅を中心とした引渡し時期の平準化に努めておりますが、平成25年3月期におきましては、当第3四半期連結累計期間実績の年間売上予想に対する実績進捗率は72.0%となりました。

なお、通期予想に対する当第3四半期連結累計期間の実績は以下のとおりであります。

	通期予想 (平成24年10月19日公表)	当第3四半期 連結累計期間	進捗率
売上高 (百万円)	66,200	47,651	72.0%
営業利益 (百万円)	3,800	2,607	68.6%
経常利益 (百万円)	3,800	2,576	67.8%
当期(四半期)純利益 (百万円)	2,320	1,600	69.0%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は69,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,995百万円増加しました。

流動資産は61,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,935百万円の増加となりました。これは主として、たな卸資産の増加額4,882百万円及び現金及び預金の減少額1,146百万円を反映したものであります。固定資産は7,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円増加しました。これは主として、有形固定資産の増加額18百万円及び投資有価証券の増加額40百万円を反映したものであります。

流動負債は22,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,387百万円の増加となりました。これは主として、支払手形・工事未払金の増加額884百万円及び短期借入金の増加額3,619百万円並びに未払法人税等の減少額1,107百万円を反映したものであります。固定負債は25,787百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円の減少となりました。これは主として、社債の償還による減少額460百万円及び長期借入金の増加額219百万円を反映したものであります。

純資産は20,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ852百万円の増加となりました。これは、配当金の支払いによる減少額743百万円及び四半期純利益の計上による増加額1,600百万円を反映したものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末の30.8%から30.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、中古住宅の仕入が厳しい競合状態となり、売上高は期初予想に比べ大きく落ち込みました。当第3四半期連結会計期間において、中古住宅の仕入営業の強化策を実施しましたが、本格的な業績の回復には至りませんでした。

通期の業績予想につきましては、直近の業績予想を反映して、売上高66,200百万円、営業利益3,800百万円、経常利益3,800百万円及び当期純利益2,320百万円の業績を見込んでおります。今後の見通しにつきましては引続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,749,597	8,603,256
完成工事未収入金	77,681	292,844
販売用不動産	10,913,181	11,241,509
仕掛販売用不動産	9,651,635	15,480,383
開発用不動産	25,756,622	24,576,420
未成工事支出金	139,972	40,012
貯蔵品	25,714	31,687
繰延税金資産	617,413	457,525
その他	999,090	1,147,371
貸倒引当金	△57,108	△61,309
流動資産合計	57,873,798	61,809,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,630,043	2,646,023
機械装置及び運搬具（純額）	94	15
工具、器具及び備品（純額）	121,423	130,373
土地	3,558,374	3,558,388
リース資産（純額）	21,998	18,773
建設仮勘定	3,282	—
有形固定資産合計	6,335,215	6,353,575
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	445,610	486,051
長期貸付金	110,939	103,859
繰延税金資産	5,837	7,590
その他	424,620	429,417
貸倒引当金	△1,587	△3,684
投資その他の資産合計	985,420	1,023,235
固定資産合計	7,335,945	7,395,796
資産合計	65,209,744	69,205,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	2,266,640	3,151,474
短期借入金	8,867,800	12,487,150
1年内償還予定の社債	720,000	720,000
リース債務	8,860	9,160
未払法人税等	1,167,075	60,052
前受金	3,742,548	3,764,134
賞与引当金	156,470	60,200
その他	2,124,831	2,189,577
流動負債合計	19,054,225	22,441,749
固定負債		
社債	1,500,000	1,040,000
長期借入金	24,275,350	24,494,900
リース債務	14,304	10,551
再評価に係る繰延税金負債	70,940	70,940
その他	170,950	170,950
固定負債合計	26,031,545	25,787,342
負債合計	45,085,771	48,229,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,872,064	4,872,064
資本剰余金	5,455,833	5,457,540
利益剰余金	10,254,353	11,111,651
自己株式	△440,652	△436,896
株主資本合計	20,141,599	21,004,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△141,797	△151,499
土地再評価差額金	82,945	82,945
その他の包括利益累計額合計	△58,851	△68,554
新株予約権	41,225	40,600
純資産合計	20,123,972	20,976,405
負債純資産合計	65,209,744	69,205,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	52,101,845	47,651,205
売上原価	42,569,595	38,868,331
売上総利益	9,532,250	8,782,873
販売費及び一般管理費		
販売手数料	742,272	735,762
広告宣伝費	1,054,293	1,260,603
販売促進費	86,812	70,935
給料及び賞与	1,788,250	1,882,251
貸倒引当金繰入額	13,697	12,959
賞与引当金繰入額	32,913	34,548
事業税	41,600	36,800
消費税等	183,669	137,715
減価償却費	60,521	62,718
賃借料	239,717	256,798
その他	1,565,660	1,684,207
販売費及び一般管理費合計	5,809,410	6,175,299
営業利益	3,722,839	2,607,573
営業外収益		
受取利息	2,040	1,965
受取配当金	11,104	11,064
受取手数料	143,457	122,717
違約金収入	40,377	11,734
その他	41,753	51,379
営業外収益合計	238,733	198,861
営業外費用		
支払利息	215,550	211,036
その他	22,209	18,484
営業外費用合計	237,760	229,520
経常利益	3,723,812	2,576,914
特別損失		
固定資産除却損	4,505	449
投資有価証券評価損	21,074	—
特別損失合計	25,580	449
税金等調整前四半期純利益	3,698,232	2,576,464
法人税、住民税及び事業税	1,328,800	817,700
法人税等調整額	242,820	158,307
法人税等合計	1,571,620	976,007
少数株主損益調整前四半期純利益	2,126,611	1,600,457
少数株主利益	—	—
四半期純利益	2,126,611	1,600,457

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,126,611	1,600,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,236	△9,702
土地再評価差額金	11,443	—
その他の包括利益合計	34,679	△9,702
四半期包括利益	2,161,291	1,590,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,161,291	1,590,754
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	20,683,819	20,136,896	5,176,636	5,813,786	290,707	52,101,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	20,683,819	20,136,896	5,176,636	5,813,786	290,707	52,101,845
セグメント利益又は損失(△)	2,425,785	970,719	648,254	281,992	△18,818	4,307,934

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,307,934
セグメント間取引消去	41,200
全社費用(注)	△626,294
四半期連結損益計算書の営業利益	3,722,839

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	15,763,178	16,275,061	8,978,357	6,316,749	317,858	47,651,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,763,178	16,275,061	8,978,357	6,316,749	317,858	47,651,205
セグメント利益又は損失(△)	1,034,663	424,418	1,444,485	362,107	△45,482	3,220,193

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	3,220,193
セグメント間取引消去	43,200
全社費用（注）	△655,820
四半期連結損益計算書の営業利益	2,607,573

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標

当社グループは、経営体質の安定化のための不動産の在庫量をコントロールする3つの指標値を目標設定いたしました。当指標の実績数値（通期予想）は、次のとおりとなっております。

在庫量の指標	目標倍率	平成24年3月期実績	当第3四半期実績
たな卸不動産/不動産売上高（注）1	1倍以下	0.79倍	1.01倍 ※
有利子負債/たな卸不動産（注）2	0.8倍以下	0.76倍	0.75倍
たな卸不動産/純資産（注）3	2倍以下	2.31倍	2.45倍

※通期業績予想に基づく数値であります。

- (注) 1. 売上高に対する在庫の量をコントロールする指標：たな卸不動産/不動産売上高
 2. 在庫に対する有利子負債の額をコントロールする指標：有利子負債/たな卸不動産
 3. 純資産額に対する在庫の金額をコントロールする指標：たな卸不動産/純資産

(2) 販売及び契約の状況

① セグメント別連結売上高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	数量	金額（千円）	数量	金額（千円）
分譲住宅				
自由設計住宅	599戸	20,683,819	456戸	15,763,178
住宅流通				
中古住宅	1,076戸	16,645,969	816戸	12,606,707
建売住宅	129戸	3,337,250	139戸	3,626,962
土地販売等	2,617㎡	153,675	792㎡	41,391
計	1,205戸 2,617㎡	20,136,896	955戸 792㎡	16,275,061
土地有効活用				
賃貸住宅等建築請負	—	3,026,271	—	5,780,076
個人投資家向け一棟売賃貸マンション	—	2,150,364	—	3,198,281
計	—	5,176,636	—	8,978,357
賃貸及び管理	—	5,813,786	—	6,316,749
注文住宅				
注文住宅建築請負	10戸	178,074	14戸	301,953
リフォーム工事請負	81件	112,632	29件	15,905
計	10戸 81件	290,707	14戸 29件	317,858
合計	1,814戸 2,617㎡ 81件	52,101,845	1,425戸 792㎡ 29件	47,651,205

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 住宅流通セグメントの「土地販売等」は、土地販売及び仲介手数料収入であります。

② セグメント別販売契約実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)			
	期中契約高		期末契約残高		期中契約高		期末契約残高	
	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)	数量	金額 (千円)
分譲住宅								
自由設計住宅	506戸	17,986,129	557戸	18,248,188	531戸	20,507,750	567戸	21,278,422
分譲マンション	—戸	—	—戸	—	204戸	4,992,282	233戸	5,713,252
土地販売	—m ²	—	—m ²	—	4,956m ²	749,540	4,956m ²	749,540
計	506戸 —m ²	17,986,129	557戸 —m ²	18,248,188	735戸 4,956m ²	26,249,572	800戸 4,956m ²	27,741,215
住宅流通								
中古住宅	1,080戸	16,734,317	130戸	2,058,127	754戸	11,710,787	84戸	1,390,929
建売住宅	120戸	3,100,519	29戸	765,091	140戸	3,705,708	40戸	1,077,342
土地販売等	2,489m ²	131,595	311m ²	15,000	914m ²	58,591	122m ²	17,200
計	1,200戸 2,489m ²	19,966,433	159戸 311m ²	2,838,219	894戸 914m ²	15,475,088	124戸 122m ²	2,485,472
土地有効活用								
賃貸住宅等建築請負	32件	4,575,403	—	8,716,764	17件	2,118,536	—	4,838,203
個人投資家向け一棟売賃貸マンション	19棟 20件 1F	2,589,931	—	1,639,337	16棟 16件 6F	2,322,662	—	840,460
計	19棟 52件 1F	7,165,335	—	10,356,102	16棟 33件 6F	4,441,198	—	5,678,664
注文住宅								
注文住宅建築請負	17戸	340,114	15戸	302,598	20戸	450,237	20戸	424,338
リフォーム工事請負	76件	76,195	2件	2,684	23件	10,491	—件	—
計	17戸 76件	416,310	15戸 2件	305,282	20戸 23件	460,729	20戸 —件	424,338
合計	1,723戸 2,489m ² 19棟 128件 1F	45,534,208	731戸 311m ² 2件	31,747,792	1,649戸 5,869m ² 16棟 56件 6F	46,626,588	944戸 5,077m ² —件	36,329,690

(注) 1. 期中契約高に記載された金額は、期中契約高と期中解約高を純額表示しております。

2. 個人投資家向け一棟売賃貸マンションの数量欄の「棟」は建物の棟数、「件」は土地の件数、「F」は一棟のうちのフロア単位で販売契約した数量を示しております。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(参考)

通期セグメント別連結売上高予想

区分	通期予想 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		
	数量	金額 (百万円)	構成比 (%)
分譲住宅			
自由設計住宅	674戸	23,960	36.2
分譲マンション	22戸	561	0.8
計	696戸	24,521	37.0
住宅流通			
中古住宅	1,088戸	16,986	25.7
建売住宅等	189戸	5,041	7.6
計	1,277戸	22,027	33.3
土地有効活用	—	10,693	16.2
賃貸及び管理	—	8,552	12.9
注文住宅	—	407	0.6
合計	1,973戸	66,200	100.0